

# LIBRARY NEWS

## 直木賞/ミネート作品

- ・『敵の名は、宮本武蔵』 木下昌輝
- ・『会津執権の榮譽』 佐藤巖太郎
- ・『月の満ち欠け』 佐藤正午
- ・『あとは野となれ大和撫子』 宮内悠介
- ・『BUTTER』 柚木麻子

## Check

直木賞（正式名称：直木三十五賞）は新聞・雑誌・本で発表された、新進・中堅作家が書いた大衆文学作品（娯楽性が高い小説）の中から選ばれる賞です。今回は『蜜蜂と遠雷』が受賞しています。

## 芥川賞/ミネート作品

- ・『星の子』 今村夏子
- ・『真ん中の子どもたち』 温又柔
- ・『影裏』 沼田真佑
- ・『四時過ぎの船』 古川真人

## Check

芥川賞（正式名称：芥川龍之介賞）は新聞・雑誌に発表され、無名あるいは新人作家が書いた、短編純文学（言葉の芸術性が高い小説）の中から選ばれる賞です。今回は『しんせかい』が受賞しています。

\*芥川賞・直木賞ノミネート作品は『おすすめ図書コーナー』に置いています。一部未刊有

## 第10回

## 私が薦める この一冊

情報メディア学科教授（図書館長） 福島 学先生

数学教育協議会、銀林浩 編集 『折り紙算数・折り紙数学』

「数学（すうがく）」が「数が苦（すうがく）」と感じる人が少なからずいるとしても「数」無しで生き抜ける人はいるのでしょうか？

考えてみると「数」とは不思議なもので「それ単独」では実体を感じられません。例えば「リンゴが1つ」にある「1」は「リンゴ」という実体と一緒にあるように感じます。逆にそれだけ「身近」な中に「数の世界」が存在するとも言えます。

と言われても「苦手」「嫌い」があっては「見る気」にもなれません。でも「折り紙」の腕を上げるついでに、ちょっと「数の世界」を知ることが出来るとしたらどうでしょう？「折り紙」と聞くと「どうせたいしたことは」と思うかもしれませんが、人工衛星でも採用されたり構造物の軽さと強度の両立に活かされる程に、実は奥が深いものです。

この本は、折り紙という実感できる存在を通して「数の世界」の存在を教えてください。折り紙だから「直線的」なものかと思われるかもしれませんが、2次曲線や相似形、楕円や円錐まで出てきます。時々「実は分数が苦手」という人もいますが、それを「折り紙」で「どう考えれば良いのか」を「手を動かしながら」学ぶ方法も書いてあります。

いかがですか？ちょっと「数の世界」を覗いてみたくなりましたか？少なくとも「素敵な折り紙」が折れるようになりながら、気軽に「数の世界」を覗いてみませんか？案外楽しいかもしれません。

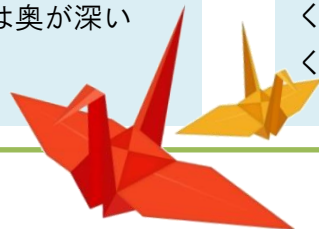
「数が苦」な人だけでなく、得意な人にも、多くの人に「数の世界」を体験するお手伝いをしてくれる一冊として本書をお薦めします。

\*福島先生お薦めの本は2階

『おすすめ図書コーナー』に置いています。

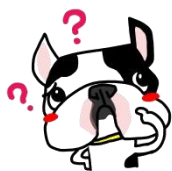
第157回 芥川賞・直木賞の

ノミネート作品を読んでみよう！



【なぜ読書をしなければいけないのか?】という記事を読んだので読書家の母に聞いてみた話

Twitter 言寺 @310\_64 さん



## 読書の平均時間は24.4分!

あなたの読書時間は?

皆さん読書していますか? 2016年に行われた全国の国立・私立大学の『学生生活実態調査』によると、1日の読書平均時間は24.4分。本を読まないという回答は49.1%でした。大学生の読書時間は年々減少傾向にあり、『白書出版産業』では20年前の1987年では読書時間が45分だったものが、1997年では31分という調査が出ています。

読書離れ・活字離れの声が大きくなる中、『なぜ読書をしなければいけないのか?』をテーマに投稿された漫画が話題になりました。

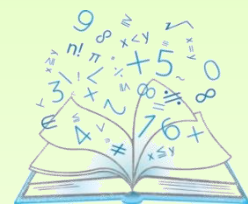
(左漫画 引用: 事 寺@310\_64 (2017.04.19)Twitter)

読書嫌いの人に読書を薦める難しさと、読書に対する人それぞれの『答え』についての漫画です。「なぜ読書をしなければいけないの?」と聞かれた場合、皆さんはその『答え』を話せますか?



## 本を読みたくなる!? 読書の格言

- ・良き書物を読むことは、過去の最も優れた人達と会話をかわすようなものである。(フランス哲学者: デカルト)
- ・今日の読書こそ、真の学問である。(幕末思想家: 吉田松陰)
- ・私が人生を知ったのは、人と接したからではなく、本と接したからである。(フランスノーベル文学賞受賞者: アナトール・フランス)
- ・宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、本には多くの宝が眠っている。そして、何よりも、宝を毎日味わうことができるのだ。(アメリカ実業家: ウォルト・ディズニー)
- ・真に素晴らしい本は内容以上のことを教えてくれる。その本を置き、仕入れた知恵を試したくなる。読むことで、行動せずにいられなくなるのだ。(アメリカ作家: ヘンリー・ソロー)
- ・書籍は青年には食物となり、老人には娯楽となる。病める時は装飾となり、苦しい時には慰めとなる。内にあつては楽しみとなり、外に持って出ても邪魔にはならない。特に夜と旅行と田舎においては、良い伴侶となる。(ローマ政治家・哲学者: マルクス・キケロ)



**長期貸出**  
はじまります。

夏休みの期間に合わせて、貸出期間が長くなる『長期貸出』がはじまります。この機会にじっくり読んでみませんか?

長期貸出開始日  
7月27日から

返却日  
10月2日

医療専門学校図書と一般の方  
は長期貸出になりませんのでご  
注意ください。

